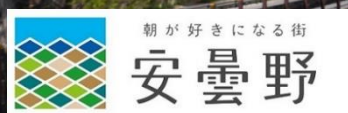


安曇野ふるさと寄附金 令和6年度活用事業報告

安曇野ふるさと寄附金を活用して
令和6年度に実施した事業の概要をお知らせします。
多くの皆さまからの温かいご寄附に感謝申し上げます。



(春の拾ヶ堰)

令和6年度は、安曇野ふるさと寄附金として **9,384 件 657,547,300 円**の
ご寄附をいただき感謝申し上げます。寄附者の皆さまのご意向に沿って大切に活用させていただきます。



わさっぴ

募集テーマ別	件数	寄附金額
1 いきいきと健康に暮らせるまち	3,481 件	281,523,000 円
2 安全で安心に暮らせるまち	942 件	56,130,000 円
3 学び合い 人と文化を育むまち	1,010 件	79,170,000 円
4 魅力ある産業を維持・想像するまち	1,107 件	101,216,800 円
5 自然と暮らしやすさが調和するまち	1,659 件	92,571,000 円
6 みんなでともにつくるまち（市長選定施策）	993 件	44,580,500 円
7 ガバメントクラウドファンディング（GCF）	192 件	2,356,000 円
合計	9,384 件	657,547,300 円

たくさんの応援メッセージありがとうございます！ほんの一部ですがご紹介します。

- ★私の真心を育ててくれた安曇野が、いつまでも人々の心の故郷でありますように。
- ★安曇野の歴史を語り繋ぐ「安曇野」。復刊を応援します！
- ★生まれ育ったこの安曇野の文化の礎を築いた人々を誇りに思います。
- ★きれいな水と山の風景をいつまでも守ってください。
- ★思い出いっぱい大好きな所です。
- ★よく旅行に行き、安曇野は大好きなところです。 安曇野が発展しますように。



あぶふる

令和6年度活用事業のご紹介



令和6年度に安曇野ふるさと寄附金を活用した事業を紹介します。
安曇野市では、7つのテーマから寄附者が希望されたテーマに沿って、各種事業に寄附金を活用しています。また、平成27年に「安曇野市ふるさと寄附基金条例」を制定し、寄附金の一部は基金に積み立てたうえで、募集テーマに沿った事業に活用しています。

予防接種事業

带状疱疹とおたふくかぜの発症や重症化予防を目的として、予防接種費用の一部助成を開始しました。
带状疱疹は満50歳以上の方、おたふくかぜは満1歳以上3歳未満までの幼児を対象に、市の独自支援として実施しています。



空家等対策事業



まちあるきイベントにおける空き家活用事例の説明

自然と暮らしやすさが調和するまちづくりに向け、市内にある空き家の適正管理や利活用を図るため、所有者向けの講演会や啓発活動、空家バンクの運営などを行い、空き家を利活用したい市民や移住希望者とのマッチングの機会を創出しました。また、所有者や利活用希望者へ補助金等により支援しました。

交通安全対策推進事業

交通事故のない安全な地域社会の実現を目指すため、交通安全思想の普及、浸透を図りました。そこでライフステージに合わせた交通安全教室や運転免許証自主返納支援事業を行いました。また自転車ヘルメット着用を促すためのヘルメット購入費補助金や交通安全関係機関と連携した広報啓発活動を実施しました。



交通安全教室の様子（小学生）

第10回信州安曇野ハーフマラソンの開催



ハーフマラソン スタートの様子

交流人口の拡大とスポーツによる地域振興を目指して、毎年6月にハーフマラソンを開催しています。市内外から集まった5,745人のランナーが、残雪の北アルプスの麓、豊かな水を湛えた田園風景の中を駆け抜けました。また、700人を超えるボランティアがランナーをサポートし、コース沿道からは多くの市民がランナーに声援を送りました。

災害対策事業

災害発生直後は、輸送路の断絶等により被災地域への流通の停滞が予想されます。そこで、市民の生命を守るために必要となる災害用備蓄品を購入しました。



購入した備蓄品の一例

児童館エアコン更新事業



エアコン更新後

老朽化によりエアコンが故障していた児童館のエアコン工事を行い、近年の猛暑の中でも児童が安心・安全に利用できる環境を整備しました。

外国語指導助手配置事業

小・中学生が英語に親しみ、外国の文化や生活にふれることで、楽しく学びながらコミュニケーション力を育て、国際的な感覚を身につけることを目指しています。市内の小学校 10 校に 4 名、中学校 7 校すべてに外国語指導講師（ALT）を配置し、授業のサポートや異文化交流の機会づくりを行いました。



ALT による課外授業の様子

コミュニティスクール事業



あいさつ挨拶運動と登校の見守りの様子

地域と学校が連携し、登下校の見守り、読み聞かせ、農業体験学習、地域の歴史講座など、地域の方々の支援や教育活動を通して子ども達の学びや体験活動の充実を図ることができました。今後も地域全体で子ども達の学びと成長を支える取組みを進めていきます。

公園施設長寿命化事業

公園は、コミュニティ形成、レクリエーション、災害時の避難場所等としての機能を有しています。公園の機能維持を目的に、老朽化による劣化や破損した公園施設の補修・更新を実施しました。



インクルーシブ遊具体験会 3 日間で約 1800 人來場

市農業振興作物等推進事業



玉ねぎ祭り（収穫体験）の様子

市の重点作物である麦、大豆、玉ねぎの生産者に対し、補助金を交付することで生産意欲の向上と作付面積の拡大を図りました。生産振興の一環として毎年「玉ねぎ祭り」を開催しており、産地の認知度向上に寄与するとともに、収穫体験は、地域内外の皆さまから好評をいただいております。

他にもこんな事業に活用しました

観光プロモーション事業

北アルプスに抱かれた自然豊かな安曇野。アウトドア・スポーツの聖地化を目指し、様々なアクティビティ（観光スポットを巡るサイクリング、河川を利用したラフティングなどのウォータースポーツ、北アルプスや里山へのトレッキング）に対応できるアウトドアガイドの養成を進めました。

企業助成事業

企業誘致、企業留置、雇用機会の創出に繋げるため、工場用地取得、工場等設置、生産設備取得、空き工場等の賃借料一部補助など 14 メニューの助成事業による企業支援を行いました。

地球温暖化対策事業

2050 年における CO2 排出量「実質ゼロ」の脱炭素社会を目指し、住宅への太陽光を活用した地球温暖化対策設備に対し補助を行いました。

入浴料金割引券交付事業

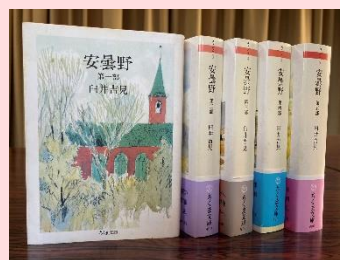
70 歳以上の高齢者や一定の障がいのある方が外出し、心身のリフレッシュ及び健康増進に繋がるよう、市内の入浴施設で利用できる入浴料金割引券を交付しました。

母子・子育て支援事業

健診は医療保険の適用外となり費用負担が大きいと、妊婦・乳児の健康の保持増進のため、費用の補助を行い、経済的負担の軽減を図りました。

ガバメントクラウドファンディング（GCF）を実施しました。

小説『安曇野』の復刊に向けてクラウドファンディングを実施しました。皆様からのご寄附により 1,100 セットを復刊し、令和 7 年 3 月 2 日には復刊本のお披露目会・販売会を開催することができました。復刊したうち販売分の 700 セットは、県内外より多くの反響をいただき、同年 5 月中に完売となりました。本を通じて、安曇野の魅力が多くの方に届くことを願っています。



小説『安曇野』

皆さまからいただいたご寄附は、安曇野市の発展のため、これからも大切に活用させていただきます。

今後とも安曇野市へのご支援をよろしくお願いします。



らいすん



（お問い合わせ先）

安曇野市役所 総務部 総務課 総務係

〒399-8281 長野県安曇野市豊科 6000 番地

TEL 0263-71-2408(直通) FAX 0263-71-5155

E-mail furusato@city.azumino.nagano.jp

令和7年8月発行